



## 合作パートナー紹介

### 会計士事務所——“立信長江”



華鐘通信編集部

今回の「合作パートナー紹介」では、私共上海華鐘コンサルタントサービス(有)と長年に渡り協力関係を持ち、現在も中国会計士事務所業界で多大な影響力を誇る「上海立信長江会計士事務所有限公司(PCPA)」をご紹介します。PCPA はこれまで、数十社に及び弊社会員企業の皆様に、資本金の驗資(日本語では「出資監査」)・年度検査(日本語では「年度会計監査」)などのサービスを提供してきました。今後も私共は、更に同事務所との関係を強化することで、皆様にご満足いただけるサービスを提供して行きたいと思っています。

現在、上海外灘金融大廈に本部を構える PCPA は、2000 年に中国国内の優秀な会計士事務所数社との合併・加盟を経た後、独立して公認会計士業務を請け負うと同時に、証券先物関連業務の従事資格を取得しました。また同年 10 月、PCPA は Haworth & Lexon 国際会計事務所集団に加入し、上海本部以外にも海南・海口、広東・珠海、新疆・ウルムチ、江蘇・蘇州、江西・南昌の 5 カ所に支部を設置しています。

PCPA と弊社が属する華鐘グループとの協力関係は、1987 年の華鐘グループ第 1 号の会社である上海華鐘ストックキング(有)設立時迄さかのぼります。当時、上海華鐘ストックキング(有)は PCPA の前身である大明会計士事務所との協力を開始し、1994 年の弊社設立以降は、弊社との関係も密接なものとなりました。2000 年の PCPA の正式設立に伴い、弊社と PCPA は新たな相互合作契約を締結して、お互いの協力関係をより明確なものにしました。現在、PCPA は弊社会員企業の皆様に、月平均 2～3 件の出資監査や年度検査のサービスを提供しています。

### —— 企業管理における最終的結果——財務 ——

PCPA 上海本部は、外灘沿岸の緑、かすかに聞こえてくる船の警笛、ゆっくりと流れてくる黄浦江の息吹がすぐそこに感じられる外灘の東側に位置しています。

今回は取材テーマが比較的専門的だったため、長年 PCPA との協力関係が深い弊社企業管理部副主任・倪也鳴さんが同行しました。3 月という中国の会計士事務所にとって最も多忙な時期であるにもかかわらず、PCPA 董事兼副主任会計士の糜平先生は取材を快く引き受けて下さいました。

PCPA 上海本部は現在、専任スタッフ約 400 人、うち公認会計士 200 人、中国証券就業資格を持つ公認会計士 61 人で構成されています。職員の平均年齢は 38～39 歳。顧客は中国約 10 の省・市・経済特区にまで広がり、合計約 3 千社(うち上場企業 62 社、外資企業約 1 千社)で、日系企業は外資企業の約 10%を占めています。PCPA の業務は、年度財務報告表の会計監査などの法定

会計監査及び出資監査など専門の会計監査が主ですが、その他にも、工事見積価格・資産信用評価・要員のトレーニング業務などの新たな業務を展開しています。

日系企業に対するサービスで最も難しい問題は、中日両国の会計決算年度における違いだと糜平先生は言います。中国の『企業会計制度』によると、会計年度は1月1日～12月31日ですが、日本の一部企業の会計決算年度が4月1日から翌年の3月31日であるため、日本と中国の報告表データに3ヶ月間の差が生じ、常に大量の調整作業を行う必要が出てきます。また、年度決算の違い以外にも、言葉の問題や項目処理方法などを含む多くの問題に直面しなければなりません。そこで、私共上海華鐘コンサルタントサービス(有)は顧客と立信長江会計士事務所の架け橋として、顧客のさまざまな要求に対応しているのです。

現在弊社とPCPAは、資本金振込後の出資監査手続と年度会計監査が主な協力項目となっています。しかし、中国のWTO(世界貿易機関)加盟に伴い、中国国内での外資政策が日増しに緩和され、国内外の企業間競争も強化されているため、今後、中国と外国との合併企業の上場・集団編成・企業の合併や買収が一層増加してくることは必然的です。業務レベルや知識を高いレベルまで向上させなければなりません、絶えず学び、情報を更新し、相互の交流を深めることで、刻々と変化する市場経済に対応することができるでしょう。



PCPA 董事兼副主任會計士である糜平先生(右)と弊社企業管理部の倪也鳴さん(左)

中国で初の会計士事務所が誕生したのは1980年代初頭。80年代末には、上海の会計士事務所は148社にまで増加しましたが、資本市場のあらゆる変化の中で、合併・買収・倒産などを経て、現在ではわずか88社。うち合作経営が5社、世界の「四大会計士事務所」であるプライスウォーターハウス(PWC)、ベリングポイント(KPMG)、デロイト トウシュ トーマツ、Ernst & Youngは上海に支店を8カ所、国内に法人としての事務所を75社設立しています。現在、「四大会計士事務所」は、中国でかなり大きな業務(全国会計士事務所総収入は約100億元で、上海は17億元を占めるが、上海の「四大会計士事務所」はその7～8億元を占める)を請け負っていますが、PCPAはHaworth & Lexon 国際会計士事務所集団加入や、海外上場B株の会計監査業務への従事が可能になったこともあり、中国会計制度の日々の完備化・国際ネットワークへの加盟、人材の国際化に伴い、中国系の会計士事務所も、次第に各方面で有利な状況となって来ています。

私達は取材の最後に、企業財務管理の重要性について語り合いました。そして、特に生産型企業は、企業末端の管理、入出荷コントロール、生産プロセスコントロール、コストコントロールなどを有効的に合理化してはじめて、正確に財務報告表に反映できるという結論に達しました。財務は企業の有効的管理の最終的反映となる！今後も私共は、業務内容の複雑化、サービス範囲拡大等、顧客要求の増加に伴い、共に協力の方向性について検討しながら、会員の皆

様により良いサービスを提供していきたいと思っています。